「元気が一番」塾　　　　　　　　　　2007.2.17　優しい風（Loving-wind）仲島

青年教師　橋本裕史先生の授業を斬る　　（明石・二見小　６年目）

・実践発表
・指導案の検証
・ビデオを見ての検証

１．実践発表は、力をつける絶好の機会。

・やりっぱなしではダメ。それをまとめることによって力がつく。→資料づくり
・発表は、要点をまとめて、順序を考えてわかりやすくしゃべる。→原稿づくり
・まとめていないと、ついダラダラ発表になる。それは聞いていてしんどい。→時間
・とにかくやってみる。経験が力になる。最初からうまい人はいない。→慣れ、継続

２．指導案の書き方。

・趣旨の書き方（３つの観が、一本の筋になるように）

こんな子どもだから（児童観）
→　こんな教材を使って（教材観）
→　こんな指導をしたい（指導観）

・指導案を読むときの３つの視点

このクラスの実態が見えるか？　※この授業に関係する子どもの実態
この先生が何を目指しているかが見えるか？
どう指導しようとしているかその具体が見えるか？

・人の指導案を添削する

人の文を添削していくうちに、自分自身の考えもわかっていくもの
人の指導案批評が出来れば、たいしたもの

３．ビデオからの検証

・ビデオはダメ。やはり目の前のライブで見てこそ、力がつく
・いい授業、いい先生は、金がかかっても見に行くこと。
・どうしても見られない最終の手段の時にビデオを使う。
・ビデオは止められる利点がある。

※　今後の予定

・3月１７日（土）　・４月の学級開きの工夫　・養護学校での学び（片山康宏）
・4月２１日（土）　・心ワクワク・・そんな遠足にするために。　・いじめの件